



2019年8月26日

大仙市議会 議長 高橋幸晴 様

ミサイル基地イージス・アショアを考える秋田県民の会

代表委員代表 川野辺英昭

事務所：秋田市中通7-2-21 ☎018-887-3636



市議会として、秋田市新屋への地上イージス配備反対の 意見表明を求める陳情

【陳情事項】

防衛省は、秋田市新屋に迎撃ミサイル基地（以下「地上イージス」という）を建設しようとしています。貴市議会におかれましては、住宅密集地のすぐそばに軍事基地を建設することに反対の意思を表明して下さるよう、要望いたします。

【陳情理由】

秋田県民の不安、不満、憤りは、なによりも住宅密集地に近いことです。新屋勝平地区は、現在5400世帯1万3000人が住んでいます。もしこの土地に軍事基地ができれば、日常的に発する強力な電磁波によって人体はもちろん、飛行機、船舶、ドクターヘリの運行に支障をきたす恐れがあり、地域住民は平穏な暮らしができなくなってしまうと見られます。

また、防衛省の報告によると、敵国からの攻撃だけでなく、テロの攻撃も予想され、新屋勝平地域は250人の自衛隊による警備や監視が日常的に行われ、物騒な地域に一変してしまうでしょう。機関銃などで武装した部隊が常時、監視体制をとっている状況は想像するだけでも怖くなります。

7月の参議院選挙秋田選挙区選挙では、地上イージスの新屋配備が選挙戦の大きな争点のひとつになりました。魁新聞の世論調査でも地上イージスについて、「どちらかといえば反対」と「反対」をあわせて反対が60%、「どちらかといえば賛成」と「賛成」をあわせて賛成は28%でした。まさに「秋田に地上イージスいらない」という県民世論を大きく反映していると考えます。

想定されている相手国のミサイルは核ミサイルであり、もし惨劇が起これば秋田県全体、日本全体にかかわる問題ともなりますので、貴議会も反対決議をあげるなど、なんらかの反対の意思を表明して下さるよう要望いたします。

